



公安系公務員合同説明会における募集広報活動

自衛隊東京地方協力本部港出張所（所長 神3陸佐）は12月7日、東京しごとセンターにおいて「公安系公務員合同説明会」を実施した。本説明会は港出張所が主催し、警視庁、消防庁、出入国在留管理庁、皇宮警察、海上保安庁及び埼玉県警察と共同で実施する公安系に特化した公務員合同説明会である。

当日は、大学生を中心に約50名が来場し、皆一様に真剣な面持ちで説明に耳を傾けていた。各ブースは、当初各機関の概要説明、その後各機関に興味を持つ参加者が自由に説明を聞くことができる個別ブースを配置し、自衛隊ブースでは、所長による全般説明と所員による各種説明・相談を実施した。

本説明会は、定期的に実施しており、良い人材を獲得するという共通の目的のもと機関の枠組みを超えて協力し、各々に公安系公務員の職務の魅力発信している。他の機関からは「まさにこの場所は『ONE TEAMの体現』である」との声も聞かれた。

合同で開催するメリットとして、同一の場所で複数の機関の話を聞くことができる点が挙げられ、多くの参加者が複数の機関のブースに足を運び、熱心に質問する姿が見られた。参加者からは、「一度に多くの機関の情報を獲得することができる場を設けていただいていたありがたい」などの感想が聞かれた。

港出張所は、引き続き公安系公務員合同説明会を積極的に企画し、自衛隊の魅力発信するとともに、防衛省・自衛隊の理解促進を図り、人材確保に取り組んでいく。



私立大学薬学部「受験生との情報交換会（懇談）」を実施

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 西尾3陸佐）は12月18日、板橋区内に所在する私立大学薬学部の学生を対象に「受験生との情報交換会（懇談）」を実施した。

同大学薬学部は6年制で、病院や薬局等への就職を志す学生が多く、今回の情報交換会は、今年度の試験で自衛隊薬剤官に合格し、入隊予定の学部6年生と、来年度の受験を希望する学部5年生を事務所に招き、情報交換をすることで入隊促進につなげることを目的としたものである。

情報交換会では、「受験を考えた理由」「受験勉強の内容」「幹部候補生学校における教育訓練研修」などについて、多くの質疑が交わされた。

同大学の先輩・後輩による懇談ということもあり、親しみやすく和やかな雰囲気の中で行われ、参加した学生からは、「自衛隊薬剤官を受験するに当たり、どのような準備をすることが良いのかわかることができ大変参考になった」「大学での勉強（実習）と受験勉強の両立について考える良い機会になった」などの声が寄せられた。

北地域事務所は、今後も広報官の人間力を最大限に発揮して対象者と綿密に連絡を取り、説明会や部隊見学、懇談等を通じて、入隊確度の向上に努めていく。

